

3年前に当時の昭和炭酸（現レゾナック・ガスプロダクツ）と滅菌ガスを商品化し、それ以降ずっとノンバクトを使わせてもらっている。海外もタイのアユタヤに日系で初の受託滅菌工場を設立し、その後も順調に拡大してきた。今回横浜、御前崎の滅菌センターだけではカバーしきれなくなり、新たに小田原を開設。滅菌技術だけでなく、時代に合わせ様々な要素を取り入れ進歩していききたい。地味でもコツコツやっていく」と挨拶した。

お開きの挨拶では、巴商會西村長之社長が「滅菌の精度を向上させるとともに、巴商會の技術も結集させてカーボンニュートラル、物流の効率化などシナジー効果を出して精度を上げている。皆様のお力添えに感謝する」と述べた。



西村巴商會社長の謝辞



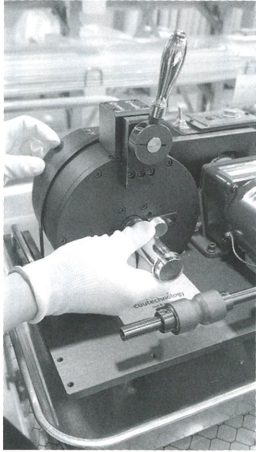
挨拶する川原社長

## ステンレスチューブカッター評価高く、滑り出し好調

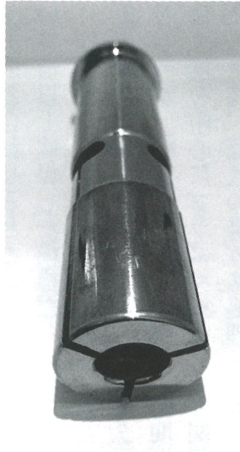
### バリユーインパクト

韓国のTKFやDK・LOKの代理店を務め、プライベートブランド『Pressvac（プレスバック）』を展開するバリユーインパクト（榎本和則社長）が、韓・キユーテックノロジー社と契約を結び、今年6月より国内で販売を開始したステンレスチューブカッターが販売を伸ばす気配だ。

同社は、「製品を見てもらうと良さが伝わり、納得してご採用いただいている。実際に使う方に触って操作性を確認してもらいたい」とし、今



コレットの取り付け



コレットはこのように3分割でチューブをしっかりと掴む

年7月から見込み客を訪ね、各地でデモ機を運転してもらった。その結果、当初の目標を上回るペースで受注を開始している。

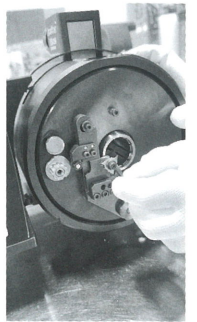
同社によると、キユーテックノロジーの製品が評価されるポイントは、①1台で1/8〜25Aサイズまでコレット変更にて幅広いチューブ径に対応。②チューブを押さえるコレットが3分割でホルド性がよく、的確な切断をするうえ、掴み代5mmを実現し、チューブの無駄を最小限に抑える。③専用刃のインサートチップは3辺使用で、バリ取りを最小限に抑えた精密な切断面を実現。④ピスを緩めてスライドするだけでサイズ交換や専用刃の交換も容易。⑤切断スピード調整するスピードコントロールラー

を搭載。チューブのサイズや板厚に最適な推奨スピードにダイヤルを合わせることで的確な切断が可能、などとする。これまで、同社は韓国製等の提供では在庫調整による即納やコストパフォーマンスの良さをメリットに訴えてきたが、ステンレスチューブカッターはそれなりに値の張る商材。丁寧な販売を心掛けた

や、ホームページで動画による取り扱いの説明も行った。好調な受注を受け、榎本社長は「現場の人手が不足する昨今、効率のいい機械を導入することのメリットが今まで以上に理解されるのではないかと語った。当初、9月末までを予定した発売記念イベント（1台購入時10%OFF、2台購入時15%OFF）も12月末まで延長し開催している。



チューブの板圧によりスピードコントロールラーで速さを調節



インサートチップの交換は容易



ステンレスチューブカッター

## r312SH series





本体切断機1台で1/8〜1in・10A・15A・20Aサイズまでコレットサイズ変更にて使用可能

---

**20th** ANNIVERSARY **value impact** **バリユーインパクト有限会社**

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 24-8 Tel 045-212-2731 Fax 045-212-2736  
 本社 / 横浜技術センター / 仙台営業所 / 台湾支店